

十日町南地域自治振興会 地域自治推進計画

1. 計画期間

令和6年度 ～ 令和8年度 （3か年）

2. 十日町南地域自治振興会の現状

- (1) 六箇地区と川治地区の川治小学校区を区域とし、十日町市の人口が4.8万人を割る中で、2,241世帯5,544人(令和6年2月末現在、前年比7世帯103人減少)の住民が居住している
- (2) 国道117号と253号が通過・交差し、高規格“上越一魚沼道”の八箇峠トンネル、八箇ICが完成し、さらに十日町ICへの延伸計画が進められている
- (3) 地域内には新潟県の出先機関や市役所など行政の庁舎が建ち、関連する業界、報道機関も事務所を構えている
- (4) 中山間地、平場を問わず中高年齢層のみの世帯が多く、今後後継者問題や集落内の活動が困難になることも危惧される
- (5) 高齢化の進展に伴い、福祉施設が建設されている
- (6) 市内でも1～2位の生徒数を有する川治小学校、南中学校がある

3. 十日町南地域自治振興会の課題

- (1) 新しい枠組みでの自治組織、新しい自治活動を作り出す努力と意気込みが必要とされている
- (2) 新たな枠組みでの活動の基になる地域内の交流、コミュニティの向上が求められる
- (3) 将来の少子高齢化を見据えた取組みを進めていく必要がある(集落安心づくり事業の拡大、地域おこし協力隊・地域支援員の導入)
- (4) 歴史を紐解き、伝統・文化の継承と再構築が求められている
- (5) あじさい公園、二千年蓮、十日町温泉郷、琵琶懸城跡、羽根川城址、魚沼スカイラインなど地域資源を生かした、より活力あるまちづくりが求められている
- (6) 市の中心地に隣接する地域にはアパートが数多く建設され、地域住民のコミュニティの低下と災害時の対応構築が急がれる

4. 十日町南地域自治振興会の将来像、目標

- (1) “新たな地域の枠組み構築”、“新たな活動”の定着
- (2) 地域の産業と調和のとれた地域振興
- (3) 地域内コミュニティの向上
- (4) 将来を担う子供たちを育む地域づくり
- (5) 少子高齢化に対応できる地域づくり
- (6) 地域内資源の有効活用による活力ある地域づくり
- (7) 災害に強いまちづくりと災害時の態勢構築

5. 十日町南地域自治振興会のキャッチフレーズ

“南”の和・輪

示そう元気・活力・地域力！

6. 十日町南地域自治振興会の基本方針

- (1) 地域住民が協力し合い、地域の振興と活性化を図る活動を推進する
- (2) 住みよい地域づくりに努め、更なる地域の発展を目指し活動を推進する
- (3) 各種の活動、交流を通して、地域コミュニティの向上を図る
- (4) 地域住民の健康と文化の向上に努める
- (5) 地域住民の安全と安心のまちづくりに努める
- (6) 地域づくりの基となるインフラ整備の活動を推進する
- (7) 地域おこし協力隊・地域支援員を導入する
- (8) ふるさと納税「とおかまち応援寄付金」を取組み、財政基盤を高めていく